



## 若者よ！土木技術者を目指せ

### 日建連関西 府立工業高専4年生が工事見学会

日本建設業連合会関西支部（水野将支部長）は19日、大阪府立工業高等専門学校環境都市システムコース4年生を対象に、南海本線・高師浜線連続立体交差事業（高石市）の工事見学会を開いた＝写真。参加した学生は、大林組・西松建設・鴻池組・鉄建JVが施工する第4工区、前田建設工業・南海辰村建設JVが施工する第5工区の現場を見て回り、鉄道工事や土木技術を学んだ。

この連続立体交差事業の概要と営業線近接工事の特徴を、南海電気鉄道の木村文彦氏（鉄道営業本部工務部工務課長補佐）が説明。工事区間は南海本線が羽衣駅～高石駅を含む延長約3.1キロ、高師浜線が羽衣駅～伽羅橋駅の約1キロで、高架化により13カ所の踏切が解消される。学生らは施工中の高架に上り現場を見学。技術的な特徴などを、大林組JVの大科篤司所長らに質問していた。